

UTSUGI CUP U-15国際女子ソフトボール大会in高崎 6月3、4日

「UTSUGI CUP U-15国際女子ソフトボール大会in高崎」(同大会開催実行委員会主催・高崎市、上毛新聞社共催)が6月3、4の両日、高崎市の宇津木スタジアム(市ソフトボール場)を主会場に初開催される。日本を含む6カ国の代表チームが参加し、グループ予選と順位決定戦で頂点を競う。大会は両日共に入場無料。



宇津木スタジアムで開催された女子ソフトボールの国際大会「JAPAN CUP」=2019年



大会は、国内外のソフトボール界に有名な高いレベルの日本女子代表と、世界から集まるソフトボール選手が一堂に集まる。宇津木妙子さんの名を冠し、本を担う育成年代の実施し、4日に始まる。開催が実現する。

6カ国集結 3年越しに初開催 若き代表 高崎から世界へ

「3年越しに大会が実現する。大会への思いは、風力してくる高崎市を、はじめ、関係者には感謝の気持ちでいっぱい。大会に参加する選手だけでなく、応援する人、大会の開催を支える人、全か、体となって盛り上げ、子どもたちへの夢や希望を与える大会にした。試合の前には、各国の選手たちと、ソフトボールの楽しさを感じてほしい。大会に期待する」とは、同年代の選手たちの交流を通じて、ソフトボールの

夢を与える大会に

世界野球ソフトボール連盟理事
宇津木妙子さん

試合日程	
6月3日	宇津木スタジアム
	9:00 日本 × メキシコ
	11:00 アメリカ × イタリア
	13:00 日本 × タンザニア
15:00 アメリカ × 中国	
第2ソフトボール場	11:00 メキシコ × タンザニア
	13:00 イタリア × 中国
	決勝戦
6月4日	宇津木スタジアム
	9:00 5・6位決定戦
	11:00 3・4位決定戦
13:00 決勝戦	

五輪復活へ 飛躍の大会に

高崎市長 富岡 賢治

各大陸6カ国参加のもと「UTSUGI CUP U-15国際女子ソフトボール大会」を、本市で開催できることを大変うれしく思います。今大会は、東京五輪で金メダルを獲得した日本女子代表が事前合宿を実施した宇津木スタジアムで行われます。出場する選手におかれましては、この聖地とも言える会場で、練習の成果を存分に発揮され、素晴らしい成績を収められますとともに、今大会が更なる飛躍のきっかけとなることを願っております。五輪競技への復活に向けて、ソフトボールシティーとして、今大会を大いに盛り上げてまいります。

U-15日本代表チーム

ヘッドコーチ 山本 優(北海道・札幌Futures)
アシスタントコーチ 古渡 美奈(東京・神田女学園中) 峰 幸代(愛知・トヨタ自動車) 山本かな(京都・洛南中)

マネージャー 高松久美子(ENISHI BODY DESIGN)

選手

位置	氏名	所属	投打	身長
投手	梶田 莉空	広島ブリンセス	右右	169
	吉良 優里	大阪イーリス	右右	166
	長友 彩莉	愛知・ハッピーフレンズ	右右	167
	中村 京	東京・神田女学園中	右右	169
	山本 心音	大阪・岸城クラブ	右右	160
	加城 夢華	大阪・岸城クラブ	右左	160
	橋本 真央	岡山エンゼルス	右右	160
	安楽 咲	愛知・ハッピーフレンズ	右右	164
	今村 悠	鹿児島・神村学園中	右左	158
	大川 沙菜	千葉・松戸第三中	左左	155
捕手	接木 藍	福岡・KGスラッガー	右右	152
	高久 蘭莉	栃木・那須中央	右右	168
	中西 華	福岡・KGスラッガー	右右	163
	藤田 莉心	鹿児島・神村学園中	右左	155
	睦谷 羽蘭	長野・信濃ドリームスター	右左	168
	ルーキーズ	福岡レッドドリームス	右右	169

宇津木スタジアムとは

市内初のソフトボール専用球場として観客席2000席を備える。グラウンドは人工芝で、ナイター照明や雨天練習場も完備。女子ソフトボールの「ニトリJDリーグ」や国際大会などの会場として使用されている。ニトリJDリーグに所属するビックカメラ高崎と太陽誘電の強豪2チームが本拠地を置き、市は「ソフトボールシティー」として競技振興に力を入れている。

海外選手との交流楽しみ

ヘッドコーチ 山本 優さん

「UTSUGI CUP U-15国際女子ソフトボール大会」に日本チームとして参加できることをうれしく思います。コロナ禍が長く続き、思う存分ソフトボールができなかった選手たちが海外の選手と交流しながら切磋琢磨する姿を想像すると楽しみます。15歳以下の選手たちにとって、国際大会は貴重な体験になります。将来のソフトボール界を担っていく選手たちをサポートしていき、10月の「第1回U-15女子ワールドカップ」に向けてチーム力も上げていきたいです。



タンザニアチームについて知る

スポーツのあり方について話す宇津木さん(右)

6カ国参加大会前に 「スポーツ楽しんで」

高崎で宇津木さん講演



15歳以下(U-15)で競う「UTSUGINO CUP U-15国際女子ソフトボール大会 in高崎」が6月3、4の両日、高崎市の宇津

木スタジアム(市ソフトボール場)を主会場に開かれるのを記念したセミナーが28日、同市のホテルで開かれた。元日本女子代表監督で世界野球ソフトボール連盟理事の宇津木妙子さんが、大会の意義やスポーツへの向き合い方を語った。出場6カ国のうち、

タンザニアは今大会が初の国際大会となる。セミナーでは、日本の団体がアフリカで競技を普及する活動や、タンザニアの子どもが明るく競技に臨む姿を動画で流した。

宇津木さんは「日本人は勝ち負けにこだわらなければいい。自然の中で楽しく競技することが本来の生き方。スポーツを楽しんでほしい」と強調した。大会の狙いについては「ソフトボールを通じた交流の場にしてほしい」とした。

元日本代表投手の一場真澄さんや南米で競技普及に取り組んだJICA海外協力隊員経験者も登場した。

(飯島礼)